

V 標準化会議の事業計画

1. 概要

標準化会議は、会員ニーズに基づいた規格づくりを進めている。

国内標準化活動では、JIS、JASOおよびJSMA規格の制定および改正原案作業に取り組む。

国際標準化活動では、ISO/TC227ばねの規格開発を継続実施する。具体的には、日本提案のISO/DIS 19690-2「皿ばね 第2部：技術仕様」の発行段階への移行を目指す。

また、ヨーロッパからばねの試験法の提案が出される予定である。エキスパートを出し積極的に参画する。11月にタイのバンコクで開催される第13回ISO/TC227ばね国際会議に参加し、ISO規格化に向けての原案審議を行う予定である。

2. 活動の詳細

(1) 国内規格関係

① JIS規格関係

平成29年度は、引き続きB1251「ばね座金」の改正原案作成作業を進める。活動期間は平成28年12月から平成29年11月までの1年間。

② JASO規格関係

自動車技術会規格委員会要素部会の活動に例年どおり参加する。なお本年は、ばねに関連した分科会活動はない。

③ JSMA規格関係

標準化推進委員会の4部会が共に年間1から2規格の改正原案作成作業を行う。ヨーロッパからばねの試験法の国際提案が出される予定なので担当部会で準備を始める。

(2) ISO規格関係

① ISO/TC227ばね関連の国際標準化活動

第13回ISO/TC227国際会議

11月16日および17日、タイのバンコクで開催予定の国際会議に参加し、以下の議案審議をする予定。皿ばねは日本がコンビナーを務めている。

1) 皿ばね 第2部：技術仕様」の発行段階へ移行するための審議。

2) ヨーロッパ提案予定のばねの試験法

② 政府制度の活用

以下の政府制度を活用し、ばねの国際標準化活動の推進を図る。

国際幹事国際会議派遣事業

(2) ①項の対応。